

氏名	森 定 淳
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 5024 号
学位授与の日付	平成 26 年 9 月 30 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科機能再生・再建科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	A New Classification System for Evaluating Patients with Severe Trauma Using B-type Natriuretic Peptide Levels and Estimated Glomerular Filtration Rate (高度救命救急センターにおける外傷患者評価 -BNP値にeGFRを併用した新たな外傷患者評価分類-)
--------	--

論文審査委員	教授 森松博史 教授 市場晋吾 准教授 和田 淳
--------	--------------------------

学位論文内容の要旨

外傷患者の重症度評価に関しては様々なスコアリングシステムが提唱されているが、実際の救急臨床現場においては複雑なスコアリングシステムによる外傷患者の重症度評価を行う時間的猶予はない。今回、我々はより簡便かつ正確な外傷患者重症度評価システムの構築を目的として、岡山大学病院高度救命救急センターEICUへ入室した外傷患者 200 名の救急初療時の BNP と eGFR を測定し、新たな患者重症度分類（鶴川分類）を試みた。eGFR=90 ml/min/1.73 m² と BNP=患者対年齢をカットオフポイントとして、対象患者を 4 群に分類し ISS スコア、TRISS 予測死亡率、APACHE II 予測死亡率、SOFA スコア、90 日後死亡率を評価した。SOFA スコア、ISS スコア、APACHE II 予測死亡率においては 4 群間で統計学的有意差を認めた。TRISS 予測死亡率、90 日後死亡率においては統計学的有意差は認めなかったが、1 群から 4 群へと高くなる傾向を示した。この結果から鶴川分類は正確度、簡便性において既存の重症度スコアと同等以上の重症度評価システムであることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は外傷患者における BNP が年齢と eGFR によく関係していることを示した。また、BNP と eGFR による患者の階層化が各種の重症度スコアとよく関連し、死亡率の予測にもつながる可能性を示した。外傷患者において BNP と eGFR による階層化を解析した研究は今までになく、新しい重要な知見を得た研究として価値ある業績と認める。よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。